

豊中市立第十五中  
学校だより

# 一期一会

ICHIGO ICHIE

いよいよ  
6月ですね



## もしも 5/29 2年救命救急講習



→ 100回分のリズムに合わせて、胸骨圧迫の練習  
豊中消防局のみなさま、ありがとうございます。

### 【救急車到着まで】(きんぐらじゅ)

講義、DVD視聴の後、署員の方の実技を真似して、生徒は身振りと言語を出し、救命実技を行いました。

- 傷病者発見 周囲安全確認
- 反応の確認 ↓ 反応なし
- 119 番通報・AED要請
- 呼吸の確認 ↓ 呼吸なし
- 胸骨圧迫
- AED到着  
↓ 音声ガイドに従って装着  
必要あれば電気ショック
- 救急車到着

救急車が到着する(豊中市では約6分とのこと)までに、発見者と協力者がともに行うことの一連の流れが理解できたのではないのでしょうか。講習では、倒れている方を想像し、ベストを尽くそうとしている生徒のみなさんの姿勢に感心しました。署員の方より「しっかりと話に反応してくれ良かったです」と感想をいただきました。

### 【読書はすすんでいますか?】

5/17の集会時に校長から集中力の話をしました。人間の集中できる時間には15分、45分、90分の3通りがあり、15分は外国語のラジオ(テレビ)講座、朝読書などの短時間の集中に最適な長さであるという内容でした。

『みなさんの朝読書の様子を廊下から見ると、本を手にしっかりと読書している姿があり嬉しく思ったのですが、安心はしていません。本を読んだふりをしていない人や、集中できていない人もいると思うからです。そこで大事なのが、本選び。自分にあつた本です。内容が難しすぎてもだめ、簡単すぎてもだめ。本が苦手な人は、読みやすい本からスタートし、少しずつ慣れていきましょう。』

1年間頑張れば、1年後には本がしっかりと読めて集中力がアップしているみなさんの姿があるでしょう。『集中して本が読める』……中学校卒業までにつけてほしい力です。本選びで悩んでいる人は図書室へぜひ寄ってください。

### 【5/17 全校集会】

クラブ表彰、校長の話に続いて、各学年クラス代表の報告がありました。それぞれ学年目標を掲げ、こんな学年にしたいという思いの伝わる発表でした。

生徒会からはスローガン「必笑! カラフルストロベリー」〜みんなとホップステップジャンプ〜を全校生で振付・唱えようという提案があり、短時間でみんなが身体を動かし練習し、完成させました。みんなが笑顔になり、これからの各活動に期待の持てる集会でした。

### 【雨の日の登下校は安全に】

5/28は朝から雨模様。昼ごろには雨も強くなり心配されましたが、帰宅時には予報どおり雨も弱まり、ホッとしました。警報による学校の休校は規定どおりではありませんが、雨などが危険だと判断される場合は、どうぞ安全を第一にし、時間をずらし登校するなどの対応をお願いいたします。

出かけるときは弱い雨であったが、次第に本降りになるということもあり。必要に応じてタオル、替えの靴下、雨ガッパなども準備をして、雨の日を乗り切りたいですね。

## ことばの泉②

「なので」「ですのぞ」を考へる

「明日は雨の予報だ。なので早めに出発しよう。」  
みなさんはこの「なので」の使い方をどう感じますか。古い人間である私は「なので」「ですのぞ」が文頭にあると少し違和感を覚えます。これらは「明日は雨の予報ですのぞ(なので)、……」のように単語の後につく言葉であり、文頭には使わないとされてきました。

ところが、現在は会話において文頭で耳にすることも多く(テレビなどでも普通に使われていますね)、WEB上の文章で文頭にあることもよく見かけます。

時代を経て言葉は変化するものであり、やがて人々に受け入れられ定着していくのかもしれない。

「その言い方は○なのか、×なのか」ということも大事ですが、言葉について関心を持ち、さまざまな場でふさわしい表現を使ってくれればと思います。